



街路樹の機能維持に向けた マネジメント手法に関する研究を行っています

私たちの研究紹介

研究テーマ
Research Theme

寒冷地における道路緑化機能を考慮した街路樹のマネジメント技術に関する研究

街路樹には、景観向上機能をはじめとする様々な機能があります。しかし昨今では、強剪定等によって、本来必要な機能が低下している事例も少なく、こうした強剪定は樹勢の衰退を招く要因にもなります。また、北海道のような積雪寒冷地では、冬期間の低温によって

幹が割れたり、除雪作業による幹の破損等もみられます。

寒地土木研究所では、街路樹の機能を維持するため、地域特性や沿道環境に応じた樹種の選定や、剪定手法等、効率的なマネジメント手法を提案するための研究を進めています。

街路樹は、様々な機能を持つ道路附属物です

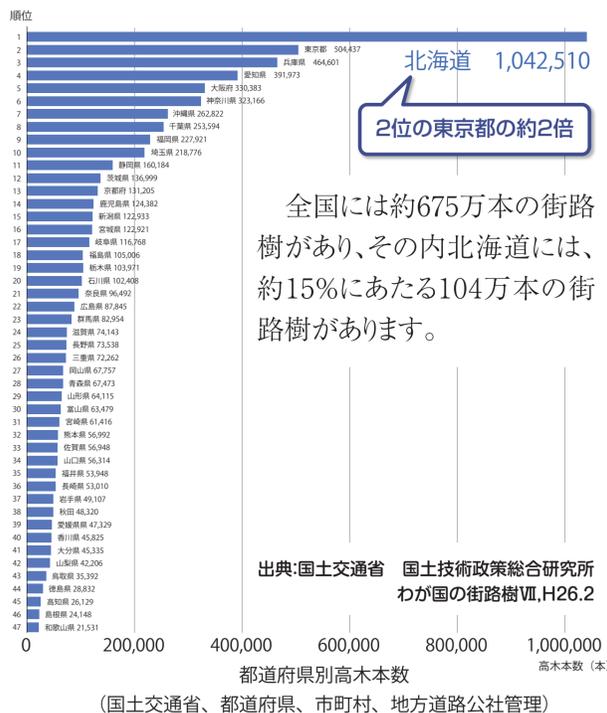
道路緑化の機能



出典：(社)日本道路協会,道路緑化技術基準・同解説

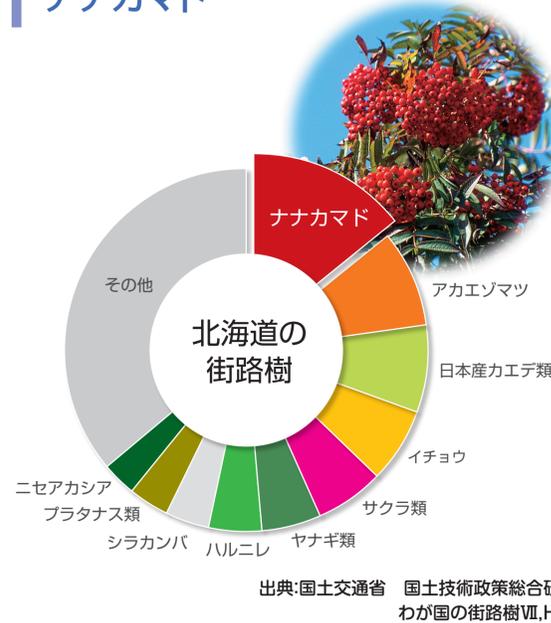
街路樹は、沿道環境や景観の向上をはじめ、歩車分離等による交通安全機能、緑陰の創出など様々な機能があり、これらの機能が総合的に発揮されることが必要とされています。

北海道には多くの街路樹があります



全国には約675万本の街路樹があり、その内北海道には、約15%にあたる104万本の街路樹があります。

北海道で一番多い街路樹はナナカマド



北海道の街路樹では、ナナカマドが最も多く、これまで多く植えられていたプラタナス、ニセアカシアは減少傾向にあります。

街路樹には、様々な課題があります



- ・老木化した街路樹は、台風などの強風時には、倒木の危険性があります。(写真左)
- ・本来必要な頻度の剪定ができず、剪定サイクルを長くするため、強剪定が行われている事例も少なくありません。(写真中)
- ・除雪作業時に飛ばされた雪や氷が当たり、幹が破損する事例もあります。(写真右)

街路樹のマニュアルを作成し、Webサイトで公開しています



URL <http://scenic.ceri.go.jp/manual.htm>

北海道の道路緑化について網羅的にとりまとめた「北海道の道路緑化指針(案)改訂版」と、剪定手法等、技術的な内容をとりまとめた「北海道の道路緑化に関する技術資料(案)」は、寒地土木研究所ホームページからダウンロードできます(無料)